

鶺鴒地域幸せづくり活動プラン ～安全安心な地域を目指して～

私たちの地域（地域の概要）

私たちの地域は、岩手山の眺望や田園風景が素晴らしく、市役所や公民館、総合公園などの公共施設や総合病院があり、住環境が整備された市の中心地域です。

毎年6月の第2土曜日に開催されるチャグチャグ馬コには、県内外から大勢の観光客が地域を訪れ大変賑わいます。

今後、市の交流拠点複合施設が整備され地域づくりの中心地として発展が期待されます。



目指す！
地域の姿

チャグチャグ馬コ発祥の地として栄える、
住みよく、活気にあふれるまち

☆鶺鴒地域づくり懇談会

（鶺鴒南自治会、鶺鴒中央自治会、滝沢パークタウン自治会、
上の山自治会、上鶺鴒自治会、鶺鴒温泉自治会、滝沢ニュータウン自治会）

【計画期間：平成27年度～平成34年度】

1 地域の宝物

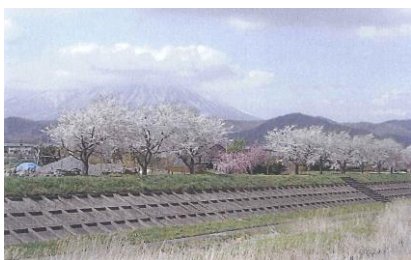
私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



チャグチャグ馬コ



蒼前神社



諸葛川の桜並木



地域の子供達とスクールガード



鵜飼小学校吹奏楽



滝沢南中学校新体操



親子サロン



交流拠点複合施設

2 地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみんなで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

■ 鵜飼地域の情報

	鵜飼地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	10,012	18.1%	55,170		H26.10末	
2 世帯数	3,888	17.7%	21,931		H26.3末	
高齢者世帯	852	21.9%	3,947	18.0%	(全市から自衛隊等を除く)	
うち高齢者1人世帯	409	10.5%	2,135	9.7%		
3 産業別人口	4,601	17.4%	26,478		H22 国勢調査	
1次産業	147	3.2%	1,374	5.2%		
2次産業	947	20.6%	5,683	21.5%		
3次産業	3,507	76.2%	19,421	73.3%		
4 年代別人口	9,920	18.3%	54,207		H26.10末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0~5	465	4.7%	2,561		4.7%
学び・成長世代	6~17	1,208	12.2%	6,735		12.4%
自立世代	18~34	1,629	16.4%	10,086		18.6%
子育て世代	35~49	2,044	20.6%	11,419		21.1%
充実世代	50~64	1,910	19.3%	11,491		21.2%
円熟世代	65~	2,664	26.9%	11,915		22.0%

■ 鵜飼地域公共施設情報（※印のあるところは指定避難所です。）

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
滝沢市役所	中鵜飼 55	684-2111	※鵜飼小学校	鵜飼洞畑 87-1	687-2004
滝沢市公民館	中鵜飼 47-1	687-2222	※滝沢南中学校	鵜飼滝向 11-1	687-2021
滝沢市社会福祉協議会	中鵜飼 47-1	684-1110	鵜飼保育園	鵜飼笹森 1-2	687-1375
滝沢中央交番	鵜飼狐洞 1-403	684-2766	ふじなでしこ幼稚園	鵜飼狐洞 1-102	684-3404
滝沢市ファミリーサポートセンター	鵜飼笹森 5-25	684-6158	※総合公園体育館	鵜飼御庭田 1-1	687-3311

3 私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題（地域と行政が連携し取り組む課題）

- ▶ 1. 盛岡環状線の交通量増加に伴い渋滞や事故が多発しています。
- ▶ 2. 交流拠点複合施設へのアクセス道路の整備が必要です。
- ▶ 3. 下水道未整備地域の解消が求められます。
- ▶ 4. 地域内に空き家が目立つようになり防犯・景観面の対策が必要です。
- ▶ 5. チャグチャグ馬コがもたらす地元への経済効果の評価が必要です。

地域活動の課題（地域で取り組む課題）

- ▶ 1. 子どもや高齢者を含めた歩行者の安全確保に取り組めます。
- ▶ 2. 安心して子育てできる地域を目指します。
- ▶ 3. 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組めます。
- ▶ 4. 快適な生活環境の確保と自然環境の保全ため適正な雑排水処理に取り組めます。
- ▶ 5. チャグチャグ馬コに代表される地域の伝統文化の継承に取り組めます。

4 幸せづくり計画

① 地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針1

滝沢市の中心として、快適で安全安心なまち並みの整備を目指します

- ▶ 1. 交通安全のため危険箇所の情報共有を図ります。
- ▶ 2. 下水道未整備地域の解消に取り組みます。
- ▶ 3. 景観に配慮した街並みを目指し景観形成住民協定を検討します。
- ▶ 4. 地域内の協働で除雪対策に取り組みます。

基本方針2

チャグチャグ馬コ発祥の地としての知名度を高め、
来訪者も楽しめる地域を目指そう

- ▶ 1. チャグチャグ馬コにあわせ蒼前神社周辺の環境美化活動を行います。
- ▶ 2. 行進路のアヤメ園の管理を行い来訪者も楽しめる環境をつくります。
- ▶ 3. チャグチャグ馬コ関連イベントに参画し来訪者をもてなします。
- ▶ 4. 地域の伝統文化の継承とピーアールを行い交流人口の増加を図ります。
- ▶ 5. 「神社・史跡マップ」を活用し、地域の歴史文化を学びます。

基本方針3

岩手山への山並みをのぞむ豊かな風景、諸葛川の水辺空間を活かした、
うるおいある地域をつくろう

- ▶ 1. 諸葛川沿いの桜並木の管理を地域で行います。
- ▶ 2. 河川の水質保全のため適正な生活雑排水処理に取り組みます。
- ▶ 3. 地域の公園の美化活動に取り組みます。

基本方針4

地域の憩いの場を確保し、子どもや高齢者が暮らしやすい
安全安心な地域にしていこう

- ▶ 1. スクールガードをはじめ地域で交通安全に取り組みます。
- ▶ 2. 交通事故防止のため児童生徒に反射テープを配布します。
- ▶ 3. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安全安心な地域をつくります。
- ▶ 4. 地域の安全安心のため空き家の情報を共有します。
- ▶ 5. AEDの設置場所の情報を共有し活用します。
- ▶ 6. ゴミだしルールの周知徹底を図り、互いに声を掛け適正なゴミ集積所の管理を心がけます。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

☆すこやか世代（0～5歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
親以外に、（子どもの）世話をしてくれる人がいること
- ②象徴指標
子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合
- ③活動モデル
子育てを支援する「ファミリーサポートセンター」や「子育て支援センター」を利用する
- ④どのように具体的に取り組むか
地域でファミリーサポートセンターの運営に参画する
- ⑤活動団体・組織
自治会、民生児童委員、社会福祉協議会 ほか

☆学び・成長世代（6～17歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんに（子どもが）見守られていること
- ②象徴指標
子どもが安全に通学できると感じる人の割合
- ③活動モデル
夜間でも目立つ服装で通学する
- ④どのように具体的に取り組むか
地域で児童・生徒に反射材を配る
- ⑤活動団体・組織
自治会、滝沢中央交番、子ども会育成会、PTA ほか

☆自立世代（18～34歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル
地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える
- ④どのように具体的に取り組むか
笑顔であいさつを交わし、自己紹介をする
- ⑤活動団体・組織
自治会、PTA ほか

☆子育て世代（35～49歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること
- ②象徴指標
参加したいと思える地域行事の数
- ③活動モデル
子育てについて相談、助言してくれる相手を持つ
- ④どのように具体的に取り組むか
ファミリーサポートセンターに行ってみる
- ⑤活動団体・組織
自治会、民生児童委員、社会福祉協議会 ほか

☆充実世代（50～64歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
世代を超えて交流する機会があること
- ②象徴指標
ここ1年で地域活動に参加した人の割合
- ③活動モデル
自治会活動など地域活動に参加する
- ④どのように具体的に取り組むか
情報の共有化を図り地域内の連携を深める
- ⑤活動団体・組織
自治会、民生児童委員、老人クラブ、社会福祉協議会 ほか

☆円熟世代（65歳～）

- ①幸福感を育む象徴的要素
いざという時にも、助け合える繋がりがあること
- ②象徴指標
いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
- ③活動モデル
地域が、ひとり暮らしの世帯を把握している
- ④どのように具体的に取り組むか
見守り活動やスクールガードに参加する
- ⑤活動団体・組織
自治会、民生児童委員、消防団、中央交番、老人クラブ、社会福祉協議会 ほか

地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	幸福感を育む 象徴的要素	象徴指標	活動モデル	どのように具体 的に取り組むか	活動団体 ・組織
すこやか世代 (0～5歳)	親以外に、(子ども)世話をしてくれる人がいること	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合	子育てを支援する「ファミリーサポートセンター」や「子育て支援センター」を利用する	地域でファミリーサポートセンターの運営に参画する	自治会、民生児童委員、社会福祉協議会 ほか
学び 成長世代 (6～17歳)	地域の人たちに(子どもが)見守られていること	子どもが安全に通学できると感じる人の割合	夜間でも目立つ服装で通学する	地域で反射材を配る	自治会、滝沢中央交番、子ども会育成会、PTA、ほか
自立世代 (18～ 34歳)	地域の皆さんと交流の機会があるころ	地域のお祭りや行事に参加した回数	地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える	笑顔であいさつを交わし、自己紹介をする	自治会、PTA ほか
子育て世代 (35～ 49歳)	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	参加したいと思える地域行事の数	子育てについて相談、助言してくれる相手を持つ	ファミリーサポートセンターに行ってみる	自治会、民生児童委員、社会福祉協議会 ほか
充実世代 (50～ 64歳)	世代を超えて交流する機会があること	ここ一年で地域活動に参加した人の割合	自治会活動など地域活動に参加する	情報の共有化を図り地域内の連携を深める	自治会、民生児童委員、老人クラブ、社会福祉協議会 ほか
円熟世代 (65歳～)	いざという時にも、助け合える繋がりがあること	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合	地域が、ひとり暮らしの世帯を把握している	見守り活動やスクールガードに参加する	自治会、民生児童委員、消防団、中央交番、老人クラブ、社会福祉協議会 ほか

5 私たちのあゆみ
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

年月日	主要な活動の記録
2002年〔H14年〕	・ 鵜飼地域まちづくり推進委員会設立（鵜飼地域4自治会）
2003年〔H15年〕	・ 諸葛川美化事業（諸葛川河川沿いの桜並木管理等） ・ チャグチャグ馬コ広場事業（蒼然神社前に東屋の設置）
2004年〔H16年〕	・ 諸葛川美化事業（諸葛川河川沿いの桜並木管理等） ・ チャグチャグ馬コ広場事業（蒼然神社前に東屋の設置）
2005年〔H17年〕	・ 「滝沢地域ビジョン」（2005～2014年度）が策定される ・ チャグチャグ馬コ行進路等景観形成推進事業（景観の維持及び保全のための調査） ・ 諸葛川美化事業（諸葛川河川沿いの桜並木管理等）
2006年〔H18年〕	・ 伝統継承事業（神社・史跡マップの作成） ・ チャグチャグ馬コ行進路等景観形成推進事業（アヤメ植栽）
2007年〔H19年〕	・ チャグチャグ馬コ行進路等景観形成推進事業（アヤメ株分け）
2008年〔H20年〕	・ 旧鬼越神社跡地整備活用事業（案内看板設置）
2009年〔H21年〕	・ 歴史講演会「鵜飼の歴史を学ぼう」開催
2010年〔H22年〕	・ チャグチャグ馬コ・史跡等PR事業（馬コ開催日に餅つき体験でおもてなし事業を実施、史跡石版作成～H23）
2011年〔H23年〕	・ チャグチャグ馬コまつりで「餅つき」で被災者支援 ・ 石碑除幕式、史跡めぐり及び懇親会の開催
2012年〔H24年〕	・ 「地域ビジョン」の振返りを実施
2013年〔H25年〕	・ 鵜飼西自治会が4自治会に分離、7自治会で地域まちづくり推進委員会を運営



鶴飼地域づくり懇談会

鶴飼南、鶴飼中央、滝沢パークタウン、上の山、上鶴飼、鶴飼温泉、滝沢ニュータウン各自治会役員、鶴飼地域まちづくり推進委員会、民生児童委員、消防団第4分団、老人クラブ、社会福祉協議会、滝沢中央交番（順不同）

